

思い、やる、人。

浜田まさよし通信

www.hamada-m.com



NO.8

発行日:2007年6月27日 発行/公明党参議院比例区第8総支部



「軍縮会議でステートメントを行う浜田」



「軍縮会議場」

ジュネーブ軍縮会議(CD: Conference on Disarmament)

軍縮会議でスピーチ

(2007年3月13日)

3月13日、浜田はジュネーブで行われた軍縮会議に出席し、日本代表として、今こそ軍縮会議が再度、実効性のある条約づくりをめざすべきとする内容のスピーチを行いました。

近年、核保有国の軍縮の義務、非核国の不拡散の義務について、核保有国と非核国が共に相手を非難し、2005年のNPT(核拡散防止条約)運用検討会議では、なんら合意文書が作成できない状況にあった中、浜田はスピーチの中で、在ウィーンの日本代表部大使が本年4-5月にウィーンで開催される第一回準備委員会の議長を務めることになっている事を踏まえ、「NPTの維持強化に向けて建設的議論が行われるよう、わが国の積極的役割を果たす用意がある」との明確な決意を表明しました。

また、CTBT(包括的核実験禁止条約)の発効には44カ国の加入が必要である中、いまだ未加入の、米、中、インド、パキスタンなどの10カ国に対して改めて署名・批准を求めるとともに、「兵器用核分裂性物質生産禁止条約(カットオフ条約IFMCT)」について、核兵器国を含めていずれの国からも反対が表明されていないことから、本年の第2会期(5-6月)に交渉入りすることを日本として正式に提案しました。

外務大臣政務官・浜田まさよし 核軍縮に日本が イニシアチブを!!



1割を日本
の支援
によって救
済するス
トップ結
核
ジャパン
イニシアチ
ブを取り
まとめま
した。

ウィンストンズル氏首相面会
3月20日、浜田はエイズ・結核問題のザンビア活動家、ウィンストン・ズル氏の受け入れに尽力し、党浜四津敏子代表代行らとともに首相官邸を訪れ、安倍晋三首相と面会。
ズル氏は、自らHIV(エイズウイルス)と結核の二重感染に苦しみ、同様に兄弟4人を二重感染で失ったことから、世界中でエイズ・結核の脅威を語り撲滅を訴える活動に献身。
席上、ズル氏は日本政府の世界エイズ・結核・マラリア対策基金に対する多額の拠出に謝意を示すとともに、「アフリカの医療現場などで、日本の支援を実感している」と述べ、安倍首相は、エイズのまん延防止などを掲げたミレニアム開発目標(MDGs)の達成のため、「日本の役割を果たしたい」と強調しました。
これらの会談を受け、浜田は、世界で毎年160万人が結核で亡くなっている現状を改善するため、その



テロ防止関連条約締結促進セミナーで挨拶
3月27日、浜田は平成18年度テロ防止関連条約締結促進セミナーでスピーチを行いました。
世界のテロ情勢は、テロとの闘いにおける協力を強化し、多くの進展が見られるものの、昨年の列車爆弾テロ、航空機爆破計画未遂事件、同時爆弾テロ事件等、依然、国際テロの脅威は深刻な状況。本セミナーの中で浜田は、国際的基準に基づき、各国及び国際社会全体のテロ対処能力を強化する取り組みの必要性を訴えるとともに、そうした取り組みを進める上でテロ防止関連条約締結と国内履行の確保の重要性を強調しました。さらに「テロ対策等治安無償」、「ASEAN統合基金」の両スキームの新設など今後ともテロ対策支援を強化していく考えを示しました。



**奥・井ノ上記念
日本青少年国
連訪問団表敬**
3月20日、浜田は平成18年度奥・井ノ上記念日本青少年国連訪問団の表敬を受けました。本派遣事業はイラクで殉職した外務省職員・奥克彦大使と井ノ上正盛参事官を顕彰するもの。
一行は日本国連協会が実施した中学生作文コンクール及び高校生主張コンクール上位入賞者で、6日間にわたりニューヨークの国連本部等を訪問しました。
浜田は一人一人に激励の言葉をかけ、和やかな雰囲気での懇談が行われました。




**映画試写会にて
委嘱状交付**
3月2日、浜田は憲政記念館で行われた映画「蒼き狼 地果て海尽きるまで」の試写会で挨拶をし、女優・菊川怜さんに「モンゴルにおける日本人の親善大使」の委嘱状を手渡しました。
本年は日本とモンゴル国外交樹立35周年の記念すべき年に当たり、両国政府の間で「モンゴルにおける日本人」と決定。試写会では訪日していたモンゴル国エンフバヤル大統領が出席しての歴史的な映画試写会となりました。

行田候補当選
4月8日、第16回全国統一地方選挙において元当務所第秘書の行田ともひとが神奈川県会議員候補に、見事、初当選を果たす事ができました。真心からの献身的なご支援をいただいた党員・支持者の皆様にご心より感謝申し上げます。

浜田まさよし Profile

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち ●横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業 ●旧通商産業省(現在の経済産業省)に入省 ●在職中に、パリアフリー住宅の実現、化学物質対策の抜本強化、電子材料やバイオ技術の産業化など、数々の実績を重ね、平成15年6月、生物化学産業課長を最後に辞職 ●平成16年7月、参議院議員選挙初当選 ●現在 外務大臣政務官 <公明党>外交部会 副部長、安全保障部会 副部長、特殊法人等改革委員会 事務局長、中小企業活性化対策本部 事務局長



児童兵を救え!

児童兵に関する国際会議でスピーチ(2007年2月5日)

パリ国際会議

浜田は2月5日、6日に仏政府とユニセフ(国連児童基金)の共催で開催された「子どもたちを戦争から解放しよう」パリ会議で、日本代表としてスピーチを行いました。

スピーチでは、児童兵問題は、単に人道的観点からだけではなく、世界のあらゆる国にとって、「テロの温床」との戦いの典型例である旨を訴えるとともに、わが国としても、ユニセフやUNDP(国連開発計画)などとの連携により、「児童兵



パリ国際会議でスピーチを行う浜田

復帰社会支援プログラム」の層の努力を行うことを表明しました。また、「世界の子どもたちが紛争の苦しみから解放され、子どもらしい希望を抱きながら生きられるよう、われわれの責任を果たさなければならぬ」と発言しました。さらに、クマラスワミ国連事務総長特別代表、アルブール国連人権高等弁務官などと会談を行い、こうした認識を共有しました。

また、9日には児童兵が5000人(世界で25万人)存在していると伝えられるウガンダ共和国北部のグル市を訪問し、我が国がUNICEFを通じて支援した難民キャンプ等の各種施設を視察しました。



ウガンダの難民キャンプを視察する浜田

人権奪う行為をSTOP!

国際条約「拉致防止条約」に署名(2007年2月6日)

拉致防止条約に署名

2月6日、パリの仏外務省における画期的な国際条約「拉致防止条約(強制失踪条約)」署名式の席上、浜田は日本を代表して署名を行いました。

国連総会で昨年末、全会一致で採択されたこの条約は、国家が拉致や拘束などで個人の自由を奪う行為を「強制的失踪」として禁止しており、被害者やその家族が真実を知り、受けた被害について賠償を求



拉致防止条約に署名する浜田

める権利も確立しています。また、「組織的な強制的失踪」は、国際法で定義される「人道に対する罪」に当たると明記。発効後は専門家10人からなる委員会を発足させ、違法行為の監視や事件の解明・解決に国際社会が共同行動を取ることも確認しています。今後、20カ国の批准を経て発効する予定となっています。



人権理事会でスピーチを行う浜田

名式はNHKなどで放送されたほか、「国際人道法の大きな穴をふさぎ：人間の安全保障の促進に向けた大きな歩」(読売新聞)と大きく掲載されました。

人権大国をめざす日本こそは、条約の一日も早い発効と未参加国の説得に全力を挙げることが重要と考えます。その真剣な取り組みを通じ、国際社会の正義と良識を味方にし、拉致問題の進展、解決の流れを確かなものにするため全力を尽くして参ります。

また、3月12日、浜田はジュネーブで行われた第4回人権理事会ハイレベルセグメントでスピーチを行い、我が国の基本的な人権政策、人権理事会に対する考え方、拉致問題を含む北朝鮮の人権問題等について述べました。その際、北朝鮮では重大な人権侵害が継続していること及び拉致問題に真剣に対処するよう強く求めることを強調し、改めて国際社会に対し、拉致問題の早急な解決への誓いと協力を求めました。

世界外交フラッシュ!!

外務大臣政務官に就任以来9ヶ月。政務官として世界50カ国との外交関係に尽力しました。動きました!

訪問・10カ国 来訪・32カ国 訪問・来訪・8カ国



スイス
(07年2月6日) アルブール国連人権高等弁務官

中国
(07年1月17日) ローレンス・ラウ香港中文大学学長

中国
(07年5月31日) 王毅在京大使、香港ウォン商工科学技術長官

ラオス
(07年5月15日) プアソーン首相

ルワンダ
(06年11月7日) カガメ大統領

タンザニア
(07年2月13日) キクウェタ大統領

ケニア
(06年12月7日) シュタイナー UNEP(国連環境計画)事務局長

サモア
(06年10月11日) 日本・PIF未来創造高校生交流招聘事業、サモア高校生訪日団

- 主な会見リスト
- 中国(他13人と会談)
 - (9月28日) 王毅在京大使
 - (1月17日) ローレンス・ラウ香港中文大学学長
 - (4月11日) 温家宝国務総理
 - (5月31日) 王毅在京大使、香港ウォン商工科学技術長官
 - 韓国(他5人と会談)
 - (11月17日) 鄭雲燦(チョンウンチャン)ソウル大学教授(前学長)
 - タイ
 - (10月3日) ビヤワット外務副次官、スウィット在京大使
 - マレーシア
 - (11月20日) 外務研修員一行
 - シンガポール
 - (4/24立ち寄り) 在留邦人との意見交換等
 - ベトナム
 - (10月20日) スン首相
 - (4月23日) キエム副首相兼外相
 - カンボジア(他2人と会談)
 - (10月23日) カオ・キム・ホン外務国際協力省長官
 - (6月14日) ファンセン首相
 - モンゴル(他2人と会談)
 - (2月27日) エンヤバル大統領
 - ラオス(他3人と会談)
 - (5月15日) プアソーン首相
 - インドネシア(他2人と会談)
 - (3月12日) アフルディン法務・人権大臣(ジュネーブにて)
 - ミャンマー
 - (11月29日) フラミン在京大使
 - インド(他2人と会談)
 - (12月15日) シン首相
 - (1月16日) セット前在京大使
 - ブルネイ
 - (3月9日) モハドジャファール国営製油会社社長
 - (6月17日) ボルキア国王
 - パキスタン
 - (3月26日) イナムルハック元外務担当国務大臣
 - スリランカ
 - (5月14日) アヌラ・バンダラナイケ国家遺産大臣
 - ネパール(他2人と会談)
 - (2月5日) シャリ・総務担当国務大臣(パリにて)
 - ベルギー
 - (12月6日) デグット外務大臣(コンゴ民にて)
 - フランス(他2人と会談)
 - (2月5日) ドゥスト=ブラジ外務大臣(パリにて)
 - イギリス
 - (3月13日) マッカートニー外務閣外大臣(ジュネーブにて)
 - デンマーク
 - (4月23日) トーナス開発協力大臣(ベトナムにて)
 - スウェーデン
 - (4月23日) カールソン/国際開発協力担当大臣(ベトナムにて)
 - スイス
 - (2/7、3/11-13訪問) 国連人権理事会出席、軍縮会議出席等
 - アメリカ
 - (1月7日) ウォーレン・ティシュナー在ジュネーブ大使
 - ケニア(他3人と会談)
 - (12月6日) トゥジュ外務大臣(コンゴ民にて)
 - シンチ(他4人と会談)
 - (10月25日) ユスフ外務大臣、ディレイタ首相
 - (10月26日) グレ大統領
 - ルワンダ(他5人と会談)
 - (10月27日) ムリガンデ外務・協力大臣
 - (10月27日) ナウワリリヤコ保健大臣
 - (10月27日) マクザ首相
 - (11月7日) カガメ大統領
 - ボツワナ
 - (11月9日) モツワハ工在京大使
 - マラウイ
 - (11月20日) ムベヴェ外務国際協力次官
 - トーゴ
 - (12月15日) エグボル通信・市民育成大臣
 - マリ
 - (1月22日) コイタ設備・運輸大臣
 - カメルーン
 - (1月25日) ハマン・アダマ初等教育大臣
 - ギニアビサウ
 - (2月16日) マネ漁業海洋経済大臣
 - ウガンダ(他4人と会談)
 - (2月8日) クテサ外相
 - (2月8日) センダウラ財務・計画・経済開発大臣
 - (2月8日) ムセベニ大統領
 - シエラレオネ
 - (3月6日) ブラック・シエラレオネ大学教授
 - アンゴラ
 - (3月16日) フルタード首相補佐官
 - ザンビア
 - (3月20日) ウィンストン・スルズ(ザンビアの結核・エイズ活動家)
 - セネガル
 - (5月8日) サール在京大使
 - モーリタニア(他6人と会談)
 - (4月19日) ヴァル正義と民主主義のための軍事評議会議長
 - (4月20日) アブダライ大統領
 - (4月20日) アバット経済・開発大臣
 - (4月20日) シダフメド外務大臣
 - (5月14日) ジャーフアル在京大使
 - モザンビーク
 - (5月16日) ムンガンベ運輸・通信大臣
 - コンゴ民(他3人と会談)
 - (12月6日) カピラ大統領
 - (12月6日) ラマザ外務大臣
 - ブルンジ(他2人と会談)
 - (12月6日) シンギラザ大統領(コンゴ民にて)
 - (12月8日) ハトゥムフウィラ外務大臣
 - スーダン
 - (2月5日) アコル外務大臣(パリにて)
 - エチオピア
 - (2月8日) ジェットAU(アフリカ連合)安全保障・平和委員
 - タンザニア(他2人と会談)
 - (2月12日) シンガソングワ計画・経済・能力開発大臣
 - (2月13日) キクウェタ大統領
 - 南アフリカ
 - (4/21立ち寄り) 在留邦人との意見交換等
 - サモア
 - (10月11日) 日本・PIF未来創造高校生交流招聘事業高校生訪日団
 - (5月19日) トウイラエム首相
 - オーストラリア
 - (5月18日) キンジェルーローウィー研究所所長
 - ニューゼaland(他2人と会談)
 - (5月19日) クラック首相(サモアにて)
 - コロンビア
 - (3月12日) カルデロン副大統領(ジュネーブにて)
 - ブラジル
 - (10月6日) アンドレ・アマド大使
- 【国際機関】
- (12月7日) シュタイナー-UNEP(国連環境計画)事務局長(ケニアにて)
 - (2月6日) アルブール国連人権高等弁務官(パリにて)